

赤外線非接触温度計

HG01

取扱説明書



このたびは赤外線非接触温度計「HG01」をお買い上げいただきありがとうございます。

ご使用になる前にこの取扱説明書を十分お読みください。

本機を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害や財産への損害を未然に防止するため、本機の取扱説明書の内容を是非よく理解しお読みください。

1. 本書について

本紙に掲載された内容は製品及びバージョンによって変更される場合がございます。

記載事項は正確を期すべく細心のチェックが行われていますが、内容の正確性については保証致しかねます。本機のソフト面、ハード面、マニュアルは改善の為、予告なく変更する権利を有します。

また、本書に関する著作権等の知的財産権について、各会社、組織は所有します。

本紙内には本製品に付属しない製品の画像や用語も表記されている可能性がございますが、

付属品については本紙やパッケージの付属品欄等に記載のあるもののみとなります。

他社登録商標・商標をはじめ、本紙に記載されている会社名、システム名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

2. 保証について

本機の使用中及び落下、衝撃等が原因での不具合による、データ損失等の補償については責任を負いかねます。また、修理でのデータ消去を伴う事項が発生しても補償について責任を負いかねます。予めご了承ください。

- 保証書にはお買い上げ日をご記入の上、大切に保管してください。
- 保証期間・保証規定については保証書の内容をよくご確認ください。保証期間中でも有料修理になる場合があります。
- 本製品の保証期間は、購入から一年間となります。
- 本製品は一般家庭での使用を目的として製造された製品、民生用の製品です。

当社製品のご注文・お取り扱い方法など、ご不明な点は下記にご相談ください。

<惠安株式会社 サポートセンター>

メール: support@keian.co.jp FAX: 03-3980-5327

製品情報についてはホームページでご覧いただけます。www.keian.co.jp

商品のご注文: info@keian.co.jp

3. 同梱物の確認

パッケージの中に以下のものがすべてそろっている事をご確認ください。

○温度計本体	1台
○一年間保証書	1枚
○取扱説明書(本書)	1部

4. 製品概要

本機は片手で操作可能な赤外線非接触温度計です。非接触測定であるため、衛生的かつ簡単に温度測定を行うことができます。

物体の表面温度や室温計測する「サーフィスマード」、粉ミルクや離乳食など人肌程度の温度計測に適した、「ボディーモード」の2つのモードが搭載されており、食品、粉ミルク、室温、水温、床、カベ等、様々な温度が測定できます。

5. 製品の特長

- 非接触かつ素早い測定
- 最新の測定結果 32 回分を記録
- 高温時 LED とアラームで通知
- 計測結果を保存することができる自動メモリー機能
- 見やすいバックライト搭載大型液晶ディスプレイ
- 摂氏(°C)／華氏(°F)表示対応

6. 安全上ならびに使用上の注意

- 本機を分解、改造しないでください。火災や感電の原因となります。
- 本体や付属品に強い衝撃や振動を与えること、加熱したり、水をかけたりしないでください。故障、発熱、発火、破裂の原因となります。
- 濡れた手で本機に触れたり、本機を濡らさないでください。火災や感電の原因となります。
- 開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災や感電の原因となります。
- 1.5V アルカリ単四乾電池以外は使用しないでください。故障、発熱、発火、破裂の原因となります。
- 直射日光のある場所や暖房器具の前など、高温になる場所で保管、使用をしないでください。故障、発熱、発火、破裂の原因となります。
- 毛布やじゅうたんなど静電気を帯びやすいものの近くや、テレビ、磁石、スピーカーボックスの近くなど

強い磁気を帯びた場所には置かないでください。故障、発熱、発火、破裂の原因となります。

- 掃除をおこなう場合は必ず電源を切り、電池を抜いたあと、乾燥した柔らかい布で拭いてください。その際には化学薬品は使用しないでください。故障、発火、感電、変色の原因となります。
- 長期間使用しないときは、電池を抜いてください。発熱、発火、破裂の原因となります。
- 本機に破損や故障がある場合は使用しないでください。ケガの原因となります。
- 電池交換の際は2本とも新しい同じ種類の電池を使用してください。
- 本機は相対湿度が95%以下かつ10°Cから40°Cまでの環境下で使用してください。
- 熱や水、落下など衝撃による本体の破損やキズ、その他お客様による物理破損は保証対象外となります。
- 本機は、表面温度を測定する製品であり、医療用の体温計ではありません。医療用途では使用しないでください。
- センサー部に手や固いもので触れたり、息を吹きかけたりしないでください。故障の原因や正しい測定結果が得られなくなる場合があります。
- センサー部が汚れた時は、ぬらしてきつく絞ったティッシュや綿棒などで軽く拭き取ってください。汚れにより正しい測定結果が得られなくなる場合があります。
- 本機を温度の高い、もしくは低い環境で保管している場合や室温の変化が激しい環境で使用する際は、測定結果が正確になるよう測定前に室温に30分ほど慣らしてから使用してください。
- 計測対象の素材や厚みなどにより、計測結果にばらつきが出る場合があります。
- 2ヶ月以上本機を使用しない場合は、電池を取り外してから保管してください。
- 本機での測定時、携帯電話や磁気を発する機器を周囲で使用しないでください。
- 子供やペットに触れられない場所に保管してください。

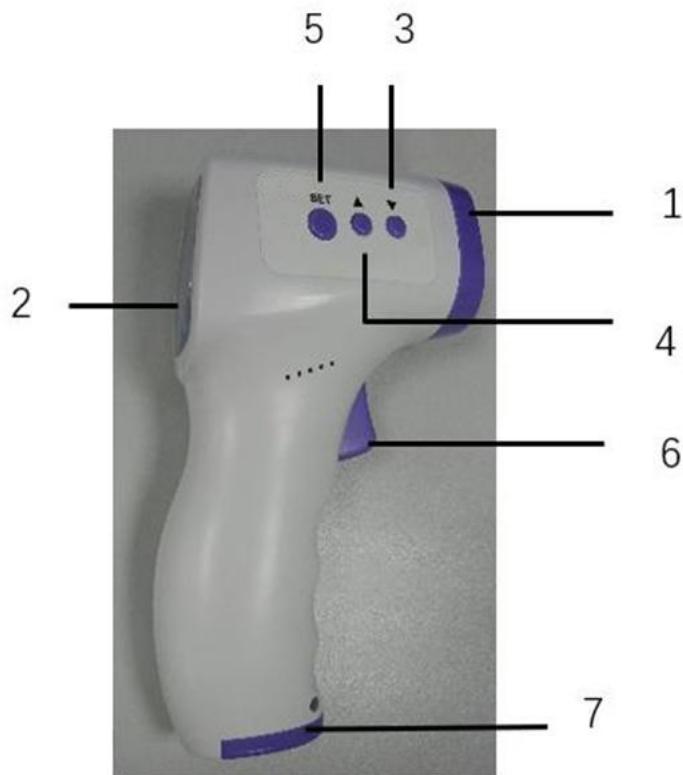
7. 製品仕様

型番	HG01	
測定方法	非接触型	
測定距離	測定対象から 3~5cm	
最小目盛り	0.1 単位	
測定範囲	ボディーモード	32°C~43°C
	サーフィスモード	0°C~100°C
精度	±0.3°C	
動作環境温度	使用時	10~40°C
	輸送・保管時	-20°C~55°C
対応相対湿度	95%以下	
対応大気圧	70kPa~106kPa	
製品寿命	約 50000 回	
メモリー保存数	最大 32 回分	
対応温度単位	摂氏(°C)・華氏(°F)	
電源	1.5V アルカリ単四乾電池 2 本(別売り)	
商品重量	約 105g(電池除く)	
商品サイズ	約 149×90×43mm	

※ サーフィスモード時は 0°C~100°Cまでセンサーが認識しますが、計測結果表示は 0°C未満は「Lo」、60°C以上は「Hi」と表示されます。

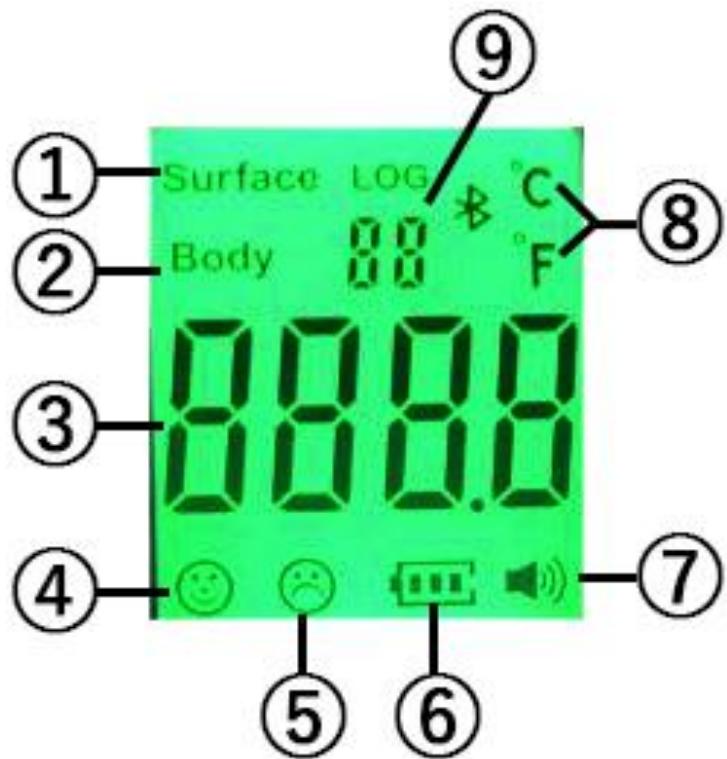
※ 充電電池は使用しないでください。

8. 各部説明



番号	名称	説明
①	赤外線センサー	温度の測定を行うセンサーです。 測定時は、測定対象へ向けて3~5cmまで近づけてください。
②	ディスプレイ	測定結果や現在のモードなどを表示します。
③	▼ボタン	電源オン時に押すと、メモリーメニューに移行し、メモリーに保存されている温度の確認ができます。 各メニュー内では次項目へ移動や値の減少ボタンとしても動作します。
④	▲ボタン	電源オン時に押すと、メモリーメニューに移行し、メモリーに保存されている温度の確認ができます。 各メニュー内では前項目へ移動や値の増加ボタンとしても動作します。
⑤	SET ボタン	電源オン状態で短く押すとボディーモードとサーフィスマードを切り替えることができます。長押しすることでセットアップメニューに切り替わります。
⑥	測定トリガー	このボタンを押すと赤外線センサーで温度を測定します。 電源オフ状態でも、このボタンを押すことで自動的に電源が入り測定がおこなわれます。
⑦	電池挿入口	スライドさせることでフタが開き、アルカリ単四乾電池2本を挿入可能です。

9. ディスプレイ表示部説明



番号	名称	説明
①	サーフィスマードインジケーター	物体の表面温度や室温計測する「サーフィスマード」時に点灯します。
②	ボディーモードインジケーター	粉ミルクや離乳食など人肌程度の温度計測に適した「ボディーモード」時に点灯します。
③	温度表示	測定温度の数値を表示します。
④	正常マーク	ボディーモード時、測定温度が 32°C～37.5°C の範囲内に表示されます。
⑤	高熱マーク	ボディーモード時、測定温度が 37.5°C を超えた際に表示されます。
⑥	バッテリー残量	バッテリーの残量状態を表します。
⑦	スピーカーマーク	測定音やアラームが再生される状態の際に表示されます。 設定でアラームがオフに設定されている場合非表示になります。
⑧	温度単位	摂氏表示設定になっている場合は「°C」 華氏表示設定になっている場合は「°F」が表示されます。
⑨	自動メモリー番号	メモリーメニュー時に、現在のメモリーが何番目のものかを表示します。

10. 操作説明

1. 温度測定

A) 測定手順:

- 温度測定前に、1.5V アルカリ単四乾電池2本が電池挿入口に挿入されており、バッテリー残量が充分にあることを確認してください。
 - ハンドルを握り、赤外線センサー部を測定対象物から 3~5cm 離した状態で向けてください。
 - 測定トリガーを引きます。アラーム設定がオンの場合、測定完了後にアラームが鳴ります。
- ※ 注意: 室温の変化が激しい環境で使用する際は、測定結果が正確になるよう測定前に室温に 30 分ほど慣らしてから使用してください。

B) ボディーモード

- 粉ミルクや離乳食など人肌程度の温度計測に適したモードです。
- アラーム ON 設定時及び測定温度が 37.5°C(背景色: 黄)以上の場合、アラームが 3 回鳴ります。
- 計測結果によってディスプレイの表示内容が変わります。

背景色	表示内容	説明
赤	Lo	計測結果が 32°C 未満のエラー表示。
	Hi	計測結果が 43°C 以上のエラー表示。
	38.0°C~42.9°C ※	人肌温度に対して高温です。
黄	37.5°C~37.9°C ※	人肌温度に対して若干熱めです。
緑	32.0°C~37.4°C	人肌程度の温度です。

※ 設定メニューで警告温度設定を変更している場合、設定された温度を超過した際に背景色が赤くなります。

C) サーフィスマード

- 物体の表面温度や室温計測するのに適したモードです。
- 計測結果によってディスプレイの表示内容が変わります。

背景色	表示内容	説明
赤	Hi	測定結果が 60°C 超過のエラー表示。
	Lo	測定結果が 0°C 未満のエラー表示。
緑	0°C~60°C	測定範囲内の温度が表示されます。

※ アラーム ON 時に背景色が赤くなる測定結果となった場合、アラームが 3 回鳴ります。

2. その他機能説明

A) 自動メモリー機能

- 計測結果を最新 32 回分自動記録します。
- 記録を閲覧する際は、電源 ON 時に「▲ボタン」か「▼ボタン」を押すとディスプレイ部に「LOG(メモリーメニューアイコン)」が表示され、記録した温度が表示されます。
1 番が最新の計測データで、32 番に進むにつれて古い計測データになります。

B) セットアップメニュー

- 電源が入った状態で「SET ボタン」を長押しすることでセットアップメニューに切り替わります。切り替わると「F1」と表示され、そこから「SET ボタン」を押すごとに「F4」まで進みます。「F4」メニュー表示中に再度 SET ボタンを押すことでセットアップメニューを終了します。
- ディスプレイに「F1」～「F4」が表示されている状態で、「▲ボタン」か「▼ボタン」を押すとそのメニューの設定を変更することができます。変更後に「SET ボタン」を押すと設定を確定します。

表示	メニュー内容	説明
F1	温度補正設定	計測結果のズレなどを補正設定ができます。 -2.0～2.0 の間で設定する事ができ、設定した数値分 測定結果を補正します。
F2	警告温度設定	ボディーモードでの測定時に赤背景色が表示される温 度のしきい値を設定します。
F3	摂氏(°C)／華氏 (°F)表示切替	摂氏(°C)／華氏(°F)表示設定を変更します。
F4	アラーム設定	計測時などに鳴るアラームのオン・オフを切り替えます。

11. 電池の取付・交換方法

始めて本機を使う際や電池残量が少ないとときは、電池交換が必要です。

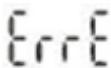
1.5V アルカリ単四乾電池2本(別売り)を用意して、下記の手順で取付・交換をおこなってください。

※ 充電電池は使用しないでください。また、挿入する際は+と-を間違えないようにしてください。

1. 本機底部の電池挿入口のフタをフタに表示されている矢印の方向へスライドし、ロックを外すとフタが開きます。
2. 蓋の裏に記載されている+/-マークを参考に、1.5V アルカリ単四乾電池2本を正しい向きで挿入します。
3. 蓋を閉じながら、開けた時と逆の方向へスライドし、フタがロックされたら完了です。

12. よくある質問

1. 液晶ディスプレイに「Lo」または「Hi」と表示され、温度が表示されない。
(ア) 測定対象物の温度が、本機の測定可能温度範囲を超えているか下回っています。
[10.操作説明]を参照して、測定対象に合ったモードか確認してください。
2. 温度計測ができない、または特殊な文字が表示される。

表示	メニュー内容	説明
	バッテリー不足	バッテリー残量がありません。電池を交換してください。
	メモリーエラー	メモリーに異常があります。 サポートセンターにお問い合わせください。
	センサー エラー	センサーがうまく反応していません。 サポートセンターにお問い合わせください。
	環境温度エラー (高温)	測定環境温度が高いです。 動作環境温度内の場所で 30 分ほど慣らしてから再度測定してください。
	環境温度エラー (低温)	測定環境温度が低いです。 動作環境温度内の場所で 30 分ほど慣らしてから再度測定してください。

3. 測定時、ディスプレイが起動するが温度が表示されない。
(ア) バッテリー不足の場合があります。電池を交換してください。
4. 測定した温度が実際の温度とずれている。
(ア) 測定対象に合ったモードが選択されているか確認してください。
(イ) 温度単位表示があつてあるか確認してください。
(ウ) 測定対象と本機のセンサーとの距離が 3~5cm あるか確認してください。距離が適切でないと測定結果が正確に測定することができません。
(エ) 測定対象と本機のセンサーとの間に煙や霧、粉塵などの障害物がある場合、正しく測定できません。障害物がない場所で測定してください。
(オ) 測定対象の表面が濡れている、若しくは汚れている場合正しく測定できない場合があります。
表面をきれいにして再度測定してください。
(カ) 強風が吹いている環境下では、正しく測定できない場合があります。風が吹いていない場所で一度 5-10 分ほど測定対象を置いた後、再度測定してください。

- (キ) 測定対象物のサイズが小さい場合、対象物の周囲まで計測してしまい正確な測定が行われていない場合があります。対象物の面積が広い場所を測定してください。
- (ケ) 本製品は一般家庭での使用を目的として製造された製品、民生用の製品です。計測対象の素材や厚みなどにより、計測結果にばらつきが出る場合があります。
- (ケ) 研磨された金属など反射率の高い物体は放射温度計では正しく測定できない場合があります。
- (コ) 本機を温度の高い、もしくは低い環境で保管している場合や室温の変化が激しい環境で使用する際は、測定結果が正確になるよう測定前に室温に 30 分ほど慣らしてから使用してください。
- (サ) センサー部が汚れている場合があります。汚れている場合は、ぬらしてきつく絞ったティッシュや綿棒などで軽く拭き取ってください。汚れにより正しい測定結果が得られなくなる場合があります。ただし、力を入れすぎるとセンサーが故障する原因となりますので、ご注意ください。